安心して暮らせる、福祉のまちづくりの実現をめざします

つばたまち

社協だより

津幡町社会福祉協議会
Town Tsubata Social welfare council

2021 Winter
VOL.56
令和３年２月発行

地域子育て支援拠点「つどいのひろば」は、同じ地区で助け合いながら楽しく子育てができるように、令和元年８月より月２回、中条地区にて開催しています。

▲中条公民館にて

▲条南コミュニティプラザにて

つどいのひろば

新職員紹介

竹本　彩

津幡町に住んで約二年半経ちますが、周りの皆様はとても温かく、大変住み良い町です。一人でも多くの方々に、笑顔・安心がお届けできるよう、地域の皆様のお手伝いをさせて頂きたいです。

フードバンク

「受贈登録」随時受付中

NPOいしかわフードバンク・ネット」より頂いた食品等を、生活困窮者や学習支援事業に活用しています。学習支援では、子ども達にとって、勉強の合間のリフレッシュとなっています。

令和元年度 津幡町社会福祉協議会

決算・事業報告

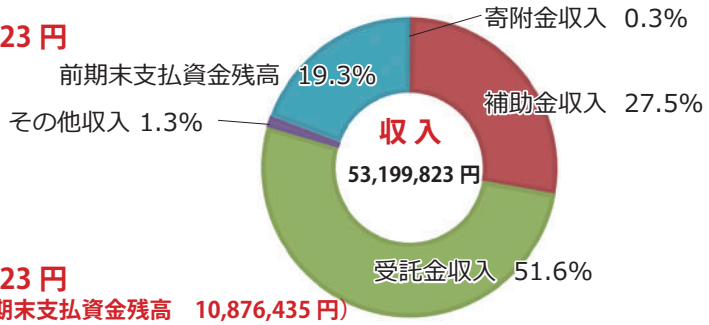
決算報告

（単位：円）

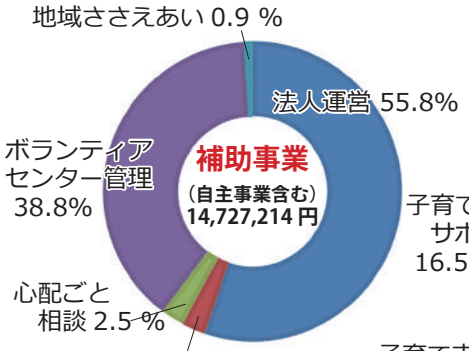
収　入	53,199,823
寄附金収入	138,012
補助金収入	14,649,473
受託金収入	27,468,905
その他収入	666,553
前期末支払資金残高	10,276,880

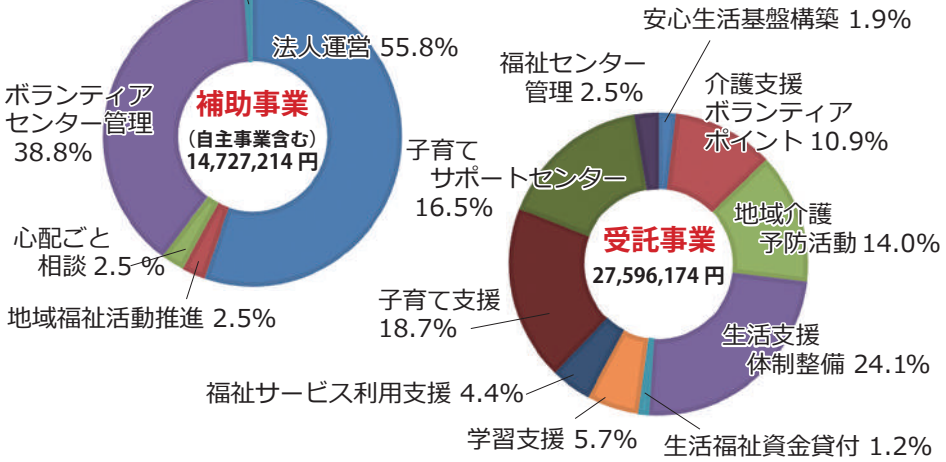
支　出	53,199,823
法人運営事業	8,137,301
地域福祉活動推進事業	371,219
心配ごと相談事業	373,957
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ管理事業	5,709,257
地域ささえあい事業	135,480
安心生活基盤構築事業	535,681
介護支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ事業	3,012,196
地域介護予防活動支援事業	3,875,970
生活支援体制整備事業	6,655,250
生活福祉資金貸付事業	319,500
学習支援事業	1,560,389
福祉ｻｰﾋﾞｽ利用支援事業	1,218,269
子育て支援事業	5,165,918
子育てｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ事業	4,554,454
福祉ｾﾝﾀｰ管理運営事業	698,547
当期末支払資金残高	10,876,435

収入 53,199,823 円



支出 53,199,823 円
（うち当期末支払資金残高　10,876,435 円）





事業報告

赤文字／新規

【法人運営事業拠点】

●法人運営事業（理事会・評議員会・監査会）
●たすけあい金庫貸付（2 件、貸付金 70 千円）
●第 11 回津幡町社会福祉大会開催
●社協だよりの発刊 (年 2 回発行)
●寄贈品の配給
・生活困窮者 (24)、学童保育 (24)、福祉団体 (2)、保育園 (2)、福祉施設 (15)

【地域福祉活動推進事業拠点】

●福祉活動推進事業
・地区社協設置 (1)/ くらし安心づくり萩野台
・第 2 期津幡町社会福祉活動計画 (推進員会 (2)、推進会議 (5)、活動会議 (2))
・地域づくり研修会 (河合谷／萩野台) 開催
●ボランティア活動支援
・ボランティア基礎講座、災害ボランティア講座、ボランティア交流会の開催
・ボランティア相談 、斡旋 、登録 (ボランティア登録 41 団体 2,491 人、個人 13 人)
・ジュニアボランティア活動普及事業「子どもができるボランティア (災害編)in 太白台小学校」
・津幡町災害ボランティアセンター現地本部運営マニュアル見直し
・児童ボランティア活動普及事業協力校 (井上小学校／車いすバスケットボール体験)
●心配ごと相談事業
・弁護士・司法書士・行政書士無料法律相談 (相談件数 61 件)
・心配ごと・行政相談 (相談件数 5 件)
●地域ささえあい事業
・利用会員 18 人、協力会員 17 人、活動件数 461 件
・地域ささえあいﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修 (2 回)
・協力会員の会「地さき会」の支援
・地域ケア会議・担当者会議 (7 回)
●地域介護予防活動支援事業（町委託）
・津幡町いきいきサロン連絡会の活動支援 (サロン 65 箇所)
・各地区ネットワーク委員会による生活支援・介護予防活動の支援
●生活支援体制整備事業（町委託）
・生活支援体制づくり (生活支援連絡会 2 回開催、延べ 176 名参加)
●福祉サービス利用支援事業（県社協委託）
・福祉サービス利用支援 (利用者 12 人延べ 118 回)
・生活支援員の育成（新規 4 名）
・権利擁護講座 (1 回)
●生活福祉資金貸付事業（県社協委託）
・相談件数 7 件、県社協貸付件数 2 件
●介護支援ボランティアポイント事業（町委託）
・介護支援ボランティア登録者 375 人、ポイント交換者 330 人、受入施設等 87 ヶ所
●学習支援事業（県・町委託）
・サマースクール (小学生 7 人延べ 5 回)
・学習教室 (中学生 6 人延べ 20 回)

【福祉センター管理事業拠点】

●福祉センター管理運営状況（町委託）(利用回数 148 回、利用者数 4,717 人)

【親子支援センター事業拠点】

●子育て支援事業（町委託）
・親子支援センター運営 (サロン利用者数（保護者 2,018 人）、（子ども 2,449 人）)
・育児相談（相談件数 20 件)
・「つどいのひろば」開催／中条地区
●子育てサポートセンター事業（町委託）
・子育てサポートセンター運営 (利用会員 31 名 、サポート会員 22 名 、利用件数 280 件)
・多胎児家庭応援事業（利用者 2 世帯、17 時間）
・子育てサポーター養成講座及び研修会の開催

【その他】

●福祉諸団体等の連絡調整及び活動支援
●共同募金運動の協力

寄付

令和元年度の寄附金は津幡町の社会福祉活動事業及びボランティア活動で役立たせて頂きます。

寄附者	単位：円
匿名（12 件）	38,012
浅田	60,000
小坂 武義	10,000
小谷 正男	10,000
髙本 治	10,000
つばたふるさと探偵団	10,000
合　計	138,012

※ご協力先は津幡町社会福祉協議会ホームページに記載しております。

▼ 井上小学校募金運動の様子

▼ 募金運動を呼びかけ巡回しました

赤い羽根共同募金

皆様からご協力いただきました募金は約70％が津幡町の福祉事業に使われ、30％は全国的な災害復興支援や石川県内の広域的な活動に使われます。ご支援、ご協力ありがとうございました。

ありがとう！ 令和２年度

共同募金

津幡町共同募金委員会

地域の皆様の温かい募金が
地域のチカラとなっています。
ご協力ありがとうございました。

【赤い羽根共同募金】

令和２年度実績　合計 **1,996,606 円**

《　今年度に集まった赤い羽根募金は、令和３年度に地域の社会福祉事業へ助成されます　》

*** 戸別募金 ***

1,678,330 円

各区長の皆様の協力を得て、各区、世帯ごとに寄付をお願いする「戸別募金」を実施しています。

*** 法人募金 ***

10,000 円

企業・法人を中心に、寄付をお願いする「法人募金」を実施しています。

*** 学校募金 ***

100,918 円

福祉教育の一環として福祉活動の内容を周知して児童・生徒などに寄付を呼びかける「学校募金」を実施しています。

*** 職域募金 ***

175,465 円

会社や官公庁など、事業所の社員・職員に寄付を呼びかける「職域募金」を実施しています。

*** イベント募金 ***

8,291 円

様々なイベント・行事の際に、その場に集まった人々に寄付をお願いしています。

*** その他募金 ***

23,602 円

文化会館シグナス内に、赤い羽根共同募金箱を設置しています。

歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金は各区長さんにご協力のもと、住民の方々の善意による温かい募金をいただきました。

歳末たすけあい募金の助成は、12月に開催された審査委員会にて左記のとおり決定され次の対象者に配付されました。

【歳末たすけあい募金】　令和２年度実績　合計 **2,982,388 円**

【助成先】

在宅障害児世帯	71 世帯
高齢施設長期施入所者	313 名
障害施設長期通所・入所者	102 名
在宅要介護世帯	15 世帯
母子父子世帯	54 世帯
東日本震災避難者	1 名
いきいきサロン運営費	62 箇所

赤十字

日本赤十字社石川県支部津幡町分区

【歳末たすけあい募金＆ NHK 海外たすけあい募金】

募金総額　**41,995 円**

令和２年12月２日（水）

赤十字奉仕団と津幡中ＪＲＣによる街頭募金が、Ａコープ津幡店にて行われました。寒い中、協力して頂いた皆様ありがとうございました。

次の災害義援金／募金を受け付けています。

- 令和２年７月豪雨災害義援金
- 令和元年台風第 19 号災害義援金
- 平成 30 年７月豪雨災害義援金（西日本豪雨）
- 平成 29 年７月５日からの大雨災害義援金（九州北部豪雨）
- 平成 28 年熊本地震災害義援金
- 東日本大震災義援金

地域福祉活動（進捗状況）

第2期地域福祉活動計画中間評価

地域福祉活動計画は5年（平成30年～令和4年）に一度策定しています。

今年度は、中間評価を行う年として、各地区（津幡地区のみ各区）全13か所で満足度等をお聞きし、その指数で社会福祉協議会が地域福祉推進のお手伝いが出来たかを評価とさせて頂きました。

その後、地域福祉計画・活動計画推進委員会で委員の方から計画の推進状況についてご意見を頂く予定となっております。

コロナ禍ですが、地区・校区委員の皆さんと地域の色々なお話を聞ける機会となりました。また、第2期後半の2年も津幡町の皆さんがすこやかに安心して暮らせるよう、福祉拠点へ出向き、地域課題解決への「やってみよう」に寄り添える社協でありたいと思います。

◀ 中間評価の様子

生活支援連絡会

今年度は、津幡町の地域課題について、富山国際大学の村上満教授を講師にお迎えして取り組みました。

多くの課題の優先順位をつける『セブンクロス法』という手法を紹介いただき、地域課題について町包括支援センター職員と町健康推進課・社協職員で学び、理解を深めました。一番取り組みたいと思っている活動は、「地域の担い手問題」でした。

来年度も村上教授に指導を頂きながら、取り組んでいきたいと思います。

▼ 生活支援連絡会様子

地域見守り勉強会

地域でできる見守りについて、英田地区・萩野台校区で気になっている事を話し合いました。

講師にNAGATAケアマネジメント研究所主宰 長田貴氏に見守りに必要な視点や考え方などアドバイスを頂きながら、地域で見守る事の大切さと暖かさを知る機会となりました。来年度も2地区で行う予定をしています。

▼ 英田地区の様子

▲ 講師
NAGATAケアマネジメント研究所
主宰 / 長田貴氏

◀ 萩野台校区の様子

生活福祉資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響から特例のコロナ対応の貸付け相談が急増しました。

下のグラフで示すように、緊急小口資金は4月5月の件数が多く、総合支援資金は6月にピークを迎えてからも増減を繰り返しています。

相対的には減少傾向にありますが、10月以降、実際の貸付け件数に加えて問い合わせなど相談件数は増えており、貸付けに至らないケースでも、生活困窮状態が続いていることがうかがえます。

職種は店舗を持つサービス業や訪問等の営業職などが目立ち、コロナウイルス感染予防による営業自粛や休業等の収入減の状態が継続しているという相談が寄せられています。

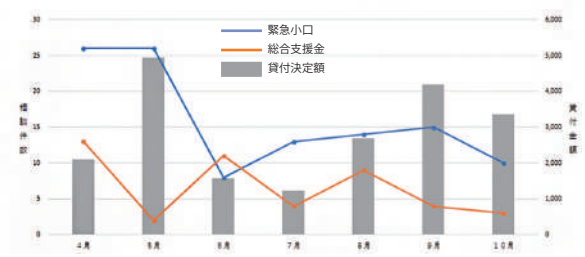
家族で見ると、母子家庭や高齢者を抱えた世帯、若い世代でも単身者で困窮がみられるなど様々で、コロナウイルスの感染流行以前から常態的に困窮している世帯も多いことが特徴となっており、関係機関と連携しながら相談支援を行っています。

令和2年4月から10月までの貸し付け決定金額は総額で20,081,000円に上りました。

（単位：件／千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
緊急小口	26	26	8	13	14	15	10
総合支援資金	13	2	11	4	9	4	3
貸付決定額	2,100	4,950	1,560	1,220	2,700	4,200	3,351

生活福祉資金貸付金額・相談件数の推移



＊緊急小口資金：緊急且つ一時的に生計の維持が困難になった場合の少額費用の貸し付け（1回のみ）

＊総合支援資金：生活再建までの間に必要な生活費の貸し付け（原則3か月）

＊いきいきサロンへ行ってみたい方、近所でサロンを開いてみたい方、社会福祉協議会までどうぞお気軽にご相談ください。

ふれあい いきいきサロン

ふれあいいきいきサロンは、
身近な場所で介護予防や健康増進を合言葉に活動中です。

コロナ禍でのいきいきサロン

コロナ禍の中 皆さんで相談しながら開催するサロン
開催しないサロン
サロンが無いと寂しいとおっしゃる参加者さん
コロナ感染を心配する担い手さん
感染予防の消毒を準備
地区のネットワークで購入した非接触型体温計で
毎回 体温を計り活動するサロン
暑い夏 寒い冬 冷暖房をかけながら襖を空けての活動
ソーシャルディスタンスを保つことのできる ゲームを選びながらの活動

コロナ禍での各サロンの活動の在り方は様々です。

組織づくり

令和２年11月末現在63か所のいきいきサロンがあり現在の体制（会長１名、副会長２）では不十分であるため、新たな体制を構築するため、12月１日　会長、副会長２名に加え、各地区の９名のアドバイザーの方に集まっていただき、話し合いが行われました。

各地区から１名、選任し１年交代で活動の補助をして頂くこととなりました。

福祉サービス利用支援事業

この事業は、日常的な金銭管理や書類の手続き支援など。福祉専門員が相談を受けて実施している活動です。

昨年から事業のご案内を兼ねて、地域の出前講座として「権利擁護講座」を開催しています。今年は10月16日に津幡地域交流センターの会場で津幡地区の方々を対象に実施し、38名の参加をいただきました。

地元で活躍される弁護士の早川潤氏・横見健太氏・司法書士の松永美里氏にご登壇いただき、成年後見制度や相続問題などに関して、「気になるお金の不安・トラブルから学ぶ」と称して分かりやすいお話を対談形式で伺うことができました。

地域で金銭管理などお困りと思われる方のご相談など、お気軽にお尋ねください。お一人おひとり、必要な支援に繋げたいと願っています。

▲津幡地区権利擁護講座

地域ささえあい事業

地域ささえあい事業は、地域の困りごとをお互い様の気持ちで手助けする相互援助活動です。

現在登録している利用会員は16名、協力会員は15名です。コロナウィルスの影響で活動自粛をしていましたが、7月初めから徐々に再開しており、新規の依頼もお受けしています。

令和2年10月27日に協力会員に向けて、「フォローアップ講座」を開催し、18名の参加をいただきました。活動の中で悩んでいることに関してQ&Aコーナーとして地域包括支援センターや福祉サービス事業所の方々と一緒に和やかに話し合いの機会が持てました。

▲ささえあいフォローアップ講座

令和3年1月14日には、「地域ささえあいボランティア講座」が開催され、新たな協力会員の登録をいただき、活躍が期待されます。

仲間とワクワク
エンジョイ！

諸団体だより

津幡町 身体障害者福祉協議会

令和2年11月8日（日）

第66回石川県身体障害者福祉大会がシグナス大ホールにて規模を縮小し、時間も例年の半分の1時間と短く感染症対策を講じながら開催されました。

津幡町からは徳田惠子氏が石川県知事表彰を受賞し、谷本県知事から表彰状が授与されました。また、石川県身体障害者福祉団体連合会長表彰を、鈴木眞理子氏と佃田行夫氏が受賞されました。

津幡町 戦没者遺族会

令和2年11月9日（日）～10日（月）

コロナ禍ではありますが、感染症対策に細心の注意を払い、先般、役員研修と感謝状贈呈式が行われました。研修出発前には役場庁議室にて、永年役員としての功績を称え感謝状の授与が行われました。

研修には、16名が参加し、金沢・加賀方面へ向かいました。外出自粛が続き久しぶりに顔を合わせ、有意義な研修となりました。

津幡町 赤十字奉仕団

令和2年11月14日（土）

今年度、コロナ禍で事業の中止が続く中、団員研修会が14名の参加で行われました。秋晴れのもと森林公園インフォメーションセンター長による植物のお話を聞きながら、森林セラピーを楽しみました。

また、石川県日赤ボランティアリーダーから習得した団員による、災害時に活用できる簡易フェイスシールド＆簡易トイレの作り方を学びました。

老人クラブ連合会【新名称】 津幡町 シニアクラブ連合会

令和2年8月19日（水）

クラブ長会議にて次期新名称「津幡町シニアクラブ連合会」に決定しました。来年度より変更されます。

令和2年度 各大会表彰

◆第69回石川県社会福祉大会

◎石川県知事表彰

・社会福祉事業従事者

・寄木美智枝（中須加）・松橋裕美子（かほく市）・浜辺和江（緑が丘）・坂本真里江（緑が丘）・西川善（かほく市）・兼保外茂江（潟端）・岩脇計太（潟端）・池田崇洋（南中条）・道井裕之（加賀爪）

・ボランティア活動者及び活動団体

・亀田洋子（御門）・木越トヨ子（太田）・森川典子（瓜生）・橋本枝子（中橋）・清水シヅ子（中須加）・桑江朝英（井上の荘）・三本の木（井上の荘）・いきいき元気会（中須加）

◎石川県社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉事業従事者

・西中洋子（緑が丘）・石元幾子（種）・北川智恵子（能瀬）・丹保洋美（金沢市）・久米修悟（金沢市）・高鍬潤（かほく市）・大橋智美（金沢市）・桶戸祥代（金沢市）・今井淳元（内灘町）・向山峯子（金沢市）・橋場奈津子（金沢市）・辰野聡則（井上の荘）・田辺真紀（加賀爪）・桶本真之（太田）・高柳琢朗（金沢市）

・社会福祉事業関係団体役員等

・小原千鶴（津幡）・西田俊男（川尻）

・ボランティア活動者及び活動団体

・松本志代（潟端）・土野昭子（能瀬）・芝田祥子（中橋）・東栄子（能瀬）・西島敏子（北中条）

◆第12回津幡町社会福祉大会

◎津幡町社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉事業従事者

・石部里香（金沢市）・長原敦子（かほく市）・向山峯子（金沢市）・橋場奈津子（金沢市）・辰野聡則（井上の荘）・高村恵八美（下中）・兵吾慶子（能瀬）・上野君代（金沢市）

・社会福祉事業関係団体役員等

・池野忠（横浜）・坂元順一（北中条）

・ボランティア活動団体

・かすみ草（能瀬）

・ボランティア活動者

・土野昭子（能瀬）・芝田祥子（中橋）・東栄子（能瀬）・西島敏子（北中条）・中谷眞理子（北中条）・谷猪正（東荒屋）・霜節子（領家）・河合外茂子（能瀬）・高崎千恵子（領家）・森ルミ子（金沢市）・中村清江（御門）・岡元重樹（太田）

◆第66回石川県身体障害者福祉大会

◎石川県知事表彰（援護功労者）

・徳田惠子（津幡）

◎石川県身体障害者団体連合会長表彰（援護功労者）

・鈴木眞理子（太田）・佃田行夫（庄）

◆令和2年度津幡町身体障害者福祉協議会

◎津幡町身体障害者福祉協議会会長表彰

・島田宸充（庄）・高野秀子（緑が丘）

◆石川県遺族連合会終戦75周年記念

◎石川県遺族連合会理事長表彰

・坂本武夫（七野）

◆令和2年度津幡町戦没者遺族会

◎感謝状

・長田孝一（津幡）・山本節子（清水）・吉本正（吉倉）・西恵洋（中須加）・西本一郎（興津）・鋤田政次（牛首）

◆第60回石川県老人クラブ大会

◎石川県老人クラブ連合会会長表彰

・杉本茂樹（加賀爪）・出見世淳一（加賀爪）・長谷川長久（市谷）

◆令和2年度津幡町老人クラブ連合会

◎津幡町老人クラブ連合会会長表彰

・酒井正量（津幡）・布目利昭（清水）・竹中千代子（清水）・井波勝雄（潟端）・片山喜美江（潟端）・石黒賢二（太田）・田中稔雄（倉見）・岡田喜憲（倉見）・板谷喜義（倉見）・西村朝子（杉瀬）・宮村澄子（倉見）・宮野ゆり子（倉見）・川渕英治（倉見）・山本秀欧（彦太郎畠）・廣瀬武志（田屋）・広瀬眞一（笠池ケ原）・上山祐二（仮生）・竹本靖子（下中）・下堂薗正徳（井野河内）・田中松子（材木）・長谷川和子（東荒屋）

ボランティアだより

災害ボランティア講座　令和２年９月８日（火）

津幡町文化会館シグナスにて「被災して困った！災害ボランティアセンターに連絡してみよう」と題して、町内の自主防災クラブ役員・防災士の方々向けに、実際に水害が起こった際の体験を交えた講座を行いました。自宅被災された方の視点、災害ボランティアセンタースタッフとしての視点、区長など地域のまとめ役としての視点それぞれで、発災時に起こりうる地域での困りごと（ニーズ）に何があるかを考え出し、センターに電話を掛けるまでの体験もしていただきました。

ジュニアボランティア

●災害編

笠野小学校　11月5日（木）
英田小学校　11月11日（水）

子どもができるボランティア

地区ネットワーク委員会協力の下、小学校児童を対象とした災害ボランティア講座を行いました。

コロナ禍での避難所も想定して、声掛け訓練やクリアファイルを使った簡易フェイスシールドの作り方なども学びました。児童からも積極的な意見が飛び交いました。

●車いすバスケット

中条小学校6年生　12月3日（木）
井上小学校4・6年生　12月4日（金）

児童のボランティア活動普及事業

車いすバスケットボールチームJamaney石川の岩崎大輔選手（白山市社協勤務）と北野尚人選手を迎え、車いすバスケットを児童の皆さんで体験しました。

岩崎氏の講義にて「生活の工夫が普通の人より少し多いだけ」「誰でも他の人に少し手伝ってもらうことがあるでしょう」障害を特別視しない目線を持つことを学びました。

収集ボランティア

＊令和元年11月より
プルタブは「つばた Reco」で
回収しています！

古切手、ハガキ、テレカ、歯ブラシ（未使用）の
ご寄付をいただき、ありがとうございました。

倶利伽羅塾 / 河合谷ふれあいセンター /（株）津幡工業 / 条南コミュニティプラザ
河北中央病院 / 道村電機水道 / のんきサロン / 西川登記測量 /
荒井初代 / 多田史代 / 中谷昭代 / 吉本市港 / 桶本修代 / 奥田久子
役場各課（環境水道部 / 福祉課 他）

（令和２年６月８日～令和２年11月18日現在／順不同・敬称略）

第12回 津幡町社会福祉大会

令和２年10月６日（火）

津幡町文化会館シグナスにおいて約80名の参集のもと、多年にわたり社会福祉活動やボランティア活動に貢献された22名と１団体の方に表彰状の贈呈がありました。

今年度は、コロナ禍で講演会も中止となり、縮小しての開催となりましたが、地域の福祉拠点であるくらし安心ネットワーク委員会及び地区社協、４地区の地域福祉活動の発表と富山国際大学の子ども育成学部教授／村上満氏の「地域づくりのエッセンス」と題してご講義いただいた地域づくり研修会の模様を上映いたしました。

つばたまち社協だより Vol.56　発行日 / 令和３年２月　社会福祉法人津幡町社会福祉協議会
津幡町北中条３丁目（津幡町文化会館シグナス内）tel.076-288-6276　fax.076-288-6748　http://tsubatashakyo.main.jp/　e-mail：shakyo@po4.nsk.ne.jp

津幡町社会福祉協議会

親子支援センター

子育て講習会

NEW 行事

子育てサポーターと遊ぼう

令和２年７月27日（月）

ファミリー・サポート・センターの活動以外に、子育てサポーターとして行事のお手伝い等の活動も行っています。今回は親子で遊べるふれあい遊びや手作りおもちゃで遊びました。

親と子の絆づくりプログラム（BP）

令和２年９月12日（木）～10月２日（木）

初めての出産で、２～５か月のお子さんのお母さん同士が集まり、４回にわたり親子の絆づくり、仲間づくり、赤ちゃんとの関わり方などを話し合い学び合いました。

【参加者の感想】
- 家族以外の人と話すことができて、毎回楽しかった。
- 悩みや不安な気持ちなど共有でき、自分だけじゃないんだと思えた。
- 近い月齢の子の親同士、色々な話を聞くことができて参考になった。

親子ヨガ

令和２年10月29日（木）

リラックスできるよう、ヨガスタジオを利用して開催しました。講師の方の、母親の気持ちに寄り添った優しい声かけや、子どもと関わる体勢を取り入れてのレッスンに、子どもと一緒に体験ができました。

ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターとは？（略称：ファミサポ）

子育てを手助けしてほしい方（依頼会員）と、子育ての手伝いができる方（提供会員）が、お互いに理解し、助け合いながらの活動です。

主に、保育施設、学童保育への送迎や、保護者が外出している間、お子様の一時的な預かりを行います。提供会員は、４日間の「子育てサポーター養成講座」を受講しています。

※依頼・提供会員ともに、年度ごとの登録が必要です。

私たちが待ってま～す☆

津幡町社会福祉協議会 親子支援センター
津幡町文化会館シグナス内（１階） Tel.288-6276（代表）
９：00～17：00　休／土・日・祝日・年末年始